

株式会社河原井商会



事業者概要

株式会社河原井商会は、1916年創業の自転車卸・小売業者。自転車を単なる移動手段ではなく、楽しみとして地域社会に普及させることを使命とし、特に電動自転車（eBike）の普及事業に注力している。従業員は自転車への深い愛着と専門知識を持ち、販売・整備・カスタマイズに関する豊富な経験を活かし、地域の人々により良い自転車ライフを提供することを目指している。

プロジェクト参加背景

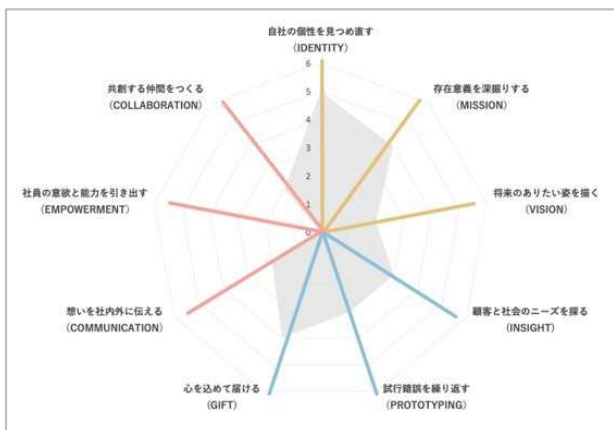
事業継承後の課題とeBike普及への挑戦

令和3年10月に事業継承を行い、経営の安定および事業拡大が課題として浮上した。特に、自転車業界の変化に対応するため、シェアが拡大するeBike事業の強化を方針として掲げた。一方で、組織文化の醸成や、社員の自発的な価値創造の不足が顕在化していた。また、社員が自転車の魅力をより積極的に発信し、顧客との関係性を強化する体制の構築も重要な目的としていた。これらの課題解決に向けてデザイン経営を導入しようと考え、参加に至った。

本プロジェクトで取り組んだこと

組織文化の醸成とeBike普及施策の実施

まず、社内の意識改革を目的として、デザイン経営の手法を取り入れ、社員の意見を引き出す対話の場を増設した。
その結果、eBikeを含めた試乗会の開催が予定され、店舗訪問や地域販売店との連携を通じて、販売チャネルの拡大を図った。
また、組織全体で新たな取り組みを進める体制を整備するとともに、業務を特定個人に依存しない仕組みの構築や、業務プロセスの可視化を実施し、持続可能な事業運営体制の確立を図った。



成果・手応え

従業員の主体的な関与とeBike市場の拡大

従業員の意見を尊重する環境を整備したことで、自転車に対する「好き」と「こだわり」が積極的に発信されるようになった。試乗会の定期開催を計画することになり、地域とのつながりも強化された。
さらに、eBike普及を目的としたイベント運営や販売店との連携が進展し、組織全体の成長につながる成果が得られた。従業員の主体性が高まり、新たな企画や提案が活発化したことで、業務の効率化および顧客満足度の向上にも寄与している。

今後の展望

eBike事業の発展と北関東No.1の販売店へ

2025年以降は、eBikeを活用した「eCOな町プロジェクト」を推進し、試乗会・走行会の定期開催および地域連携の強化を進める方針である。
2030年までに販売店と協力し北関東No.1のeBike販売実績を目指し、ECサイトの構築（2026年）や新コンセプト店舗の開設（2028年）を計画している。従業員が楽しく働き続けられる環境の整備とともに、他の販売店との連携によるeBike市場の拡大を図り、業界全体の成長を促進し、より多くの人々へeBikeの魅力を届けていく。

